

平成 29 年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント
「NPO と学生がつながろう！～持続可能なコミュニティ支援活動のために～」
参加団体の募集について

復興庁では、平成 24 年度から毎年、大学生の方々を中心に、夏休みなどの長期休暇を利用した東日本大震災の被災地におけるボランティア活動への参加を呼びかけるキャンペーンを実施しており、平成 29 年度は「掘り起こそう、東北の『たからもの』」をテーマとしてキャンペーンを展開しております。

今回は、東日本大震災の発災から約 6 年半が経過し、仮設住宅から復興住宅へ移行し、新たなコミュニティ形成が行われている中で、地元の学生ボランティア団体が抱えている課題を解決するために、

- ・他の学生ボランティア団体や、男女共同参画を含む多様な視点を持ってコミュニティ形成支援等の活動を行っている NPO 等の団体との交流
- ・日本アイ・ビー・エム株式会社による「プロジェクト・マネジメント」の手法を学ぶワークショップへの参加

を通して、学生ボランティア団体の活動をより持続可能なものへとするとともに、男女共同参画を含む多様な視点を持って活動を行っている団体にとっても、学生とのつながりをつくることで、活動をより発展的なものとしていくことを目的として、「NPO と学生がつながろう！～持続可能なコミュニティ支援活動のために～」を開催することとし、このイベントへの参加を希望する団体を下記の通り募集いたします。

皆様からの多数の応募を心よりお待ちしております。

記

1 開催日時・場所

日時：平成 30 年 2 月 18 日（日）10:00～18:00

場所：仙台国際センター 〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

<http://www.aobayama.jp/>

2 実施内容

- ・各団体の活動紹介などの団体による活動発表会（午前・2 時間程度）
- ・日本アイ・ビー・エム株式会社の社会貢献活動としての、プロジェクト・マネジメントの手法を学ぶワークショップ※
（午後・4 時間程度）

など

※日本アイ・ビー・エム株式会社の現役プロジェクト・マネジャーによる講義と、自団体が関わる企画（プロジェクト）を題材とした実践的な演習を通じて、プロジェクト・マネジメント手法の概要を理解するとともに、プロジェクトの企画の「可視化」や管理のための共通概念の習得を目指す内容です。

※実施内容の詳細については、別添 1 「実施内容について」を参照ください。

3 募集する団体及び団体数

団体の要件：・東日本大震災からの復興支援を目的としたボランティア活動をしている「大学生」で組織される団体で、所在地が岩手県・宮城県・福島県の団体。特に、仮設住宅・復興住宅において住民の方と関わる活動をしている団体。

- ・東日本大震災からの復興支援を目的に男女共同参画を含む多様な視点を持って活動を行っている NPO 等（一般社団法人、一般財団法人、任意団体など、復興支援を行っている団体）の団体※で、所在地が岩手県・宮城県・福島県の団体。特に、仮設住宅・復興住宅において住民の方と関わる活動をしている団体。

※「男女共同参画を含む多様な視点を持って活動を行っている NPO 等の団体」とは、女性、子ども、障害者等を含めた多様な視点により行われている活動で、復興庁男女共同参画班が作成している「男女共同参画の視点からの参考事例集」(<http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-16/20130626164021.html>) に掲載されているような団体のこと。

- ・上記のどちらかの条件に該当した上で、現在実施している、又は今後実施を予定している、開催時期、規模、内容等がある程度定まっている企画（プロジェクト）を持っている団体。（実施時期が間近な企画でも可）
- ・必ず 1 団体 2 名又は 3 名で参加すること（当日は団体の関わっている企画メンバー単位でワークショップに参加いただきます。1 団体 1 企画でお願いします。）。

※詳細は、別添 2 「募集要領」を参照。

団体の数：10 団体程度

※参加に要する往復の交通費については、復興庁で負担する予定。

4 応募方法（詳細については別添 2 「募集要領」を参照）

別添 2 「募集要領」に従い、応募用紙に必要事項を記入の上、期限までに電子メールで次の宛先に送付。

提出期限：平成 29 年 12 月 15 日（金）17:00（必着）

提出先：復興庁ボランティア・公益的民間連携班（i.volunteer@cas.go.jp）あて

5 参加団体の選定

応募団体から提出された応募用紙について復興庁において評価を行い、参加いただく団体を決定いたします。参加いただく団体には、12 月下旬にご連絡します。

なお、評価は次の観点から行います。

- ・応募団体のこれまでの活動内容と活動結果の分析ができているか。
- ・現在実施している、又は今後実施を予定している、具体的な企画（プロジェクト）を持っているか。
- ・今回のイベントに参加して何を得たいと考えているか。また、得たものを今後、どのように活かしていこうと考えているか。
- ・参加するに当たっての意気込み。 ほか

以上

<本件に関する問い合わせ>

復興庁ボランティア・公益的民間連携班

電話：03-6328-0274

電子メール：i.volunteer@cas.go.jp

実施内容について

【スケジュール（案）】

開始	内容
10:00	各団体の活動紹介などの団体による活動発表会※一般の方も参加
12:00	ランチミーティング※ワークショップ受講者のみ対象
13:00	ワークショップ概要説明／参加団体のプロジェクトの紹介など
13:20	講義 1：プロジェクトマネジメントの概要
13:40	演習 1：プロジェクト企画書作成
14:50	休憩
15:00	講義 2：プロジェクトマネジメントの計画
15:10	演習 2：マイルストーン・チャート作成
15:50	講義 3：ステークホルダーマネジメント
16:10	演習：ステークホルダーマップおよびコミュニケーションプラン作成
16:45	まとめ
17:00	ワークショップ終了・交流会へ参加
18:00	交流会終了

1. 各団体の活動紹介などの団体による活動発表会（午前・2 時間程度）

参加している学生ボランティア団体、NPO 等の団体より、それぞれの団体がどのような活動を行っているのか、2 時間程度の時間で発表する。（形式等については、参加団体数を踏まえ別途検討予定）

※活動発表後、昼食時間に、ワークショップを受講するグループ同士の交流を図るために、関係者のみでランチミーティングを実施予定。（昼食はこちらで準備予定です。）

2. IBM プロジェクトマネジメント・ワークショップ（午後・4 時間程度）

【目的】

1. 講義を通じて、プロジェクト・マネジメント手法の概要を理解する
2. 演習を通じてプロジェクトの立上げに必要な要素を理解し、自分自身が進めているプロジェクトの企画書、管理のためのワークシートを作成し、プロジェクトの「可視化」を目指す

【進め方】

- プロジェクト・マネジメント手法に関する講義と演習（グループ作業）を交互に実施します。
- 講義とグループ作業が 1:2 ぐらい比率となりグループ作業が中心になります。

【特徴】

- ワークショップの講師及び演習のアドバイザーは、IBM の現役プロジェクト・マネジャーが担当します。
- 演習の中では、架空のケースではなく、団体の皆様が普段取り組まれている企画（プロジェクト）を 1 つ取り上げ、団体メンバー間でディスカッションしていただきながら、企画書を中心とする資料の作成に取り組んでいただきます。
（ただし、時間との兼ね合いで、資料を全て完成することを目的にはしておりませんので、その点についてはご了承ください）

3. 交流会（30 分～1 時間程度）

ワークショップへ参加頂いた皆様や、同日復興庁にて開催予定の他のイベントの参加者と一緒に、交流会を実施予定。

平成 29 年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント
「NPO と学生がつながろう！～持続可能なコミュニティ支援活動のために～」
参加団体募集要領

1 趣旨・目的

東日本大震災の発生から 6 年半が過ぎましたが、被災地でのボランティア活動に対するニーズは依然として存在しています。また、求められるニーズは、復興の進展や生活環境の変化により、細分化・多様化しています。特に、仮設住宅から復興住宅へ移行し、新たなコミュニティの形成が必要となっており、どのようにコミュニティを形成していくかは重要な課題の 1 つとなっています。

このような状況を踏まえ、このイベントは、東日本大震災からの復興に関する取組を行っている学生ボランティア団体のうち、仮設住宅・復興住宅において住民の方に関わる活動をしている団体が、

- ・他の学生ボランティア団体や、男女共同参画を含む多様な視点を持って活動を行っている団体との交流
- ・日本アイ・ビー・エム株式会社による「プロジェクト・マネジメント」の手法を学ぶワークショップへの参加

を通して、

- ・学生ボランティア団体にとっては、活動の具体的なポイントや、新規企画（プロジェクト）の立上げには何が必要なのか、目的を達成するために、どんなことが必要など、活動をしつかり実施・継続していくための一般的な管理運営方法を学ぶとともに、他団体とのつながりを作ることにより、取組をより一層持続可能なものとする
- ・男女共同参画を含む多様な視点を持って活動を行っている団体にとっては、学生の活動を知ること、視野を広げ、日本アイ・ビー・エム株式会社の「プロジェクト・マネジメント」の手法を学ぶワークショップを通して改めて組織運営について学び、より発展的な活動ができるようになること

を目的としています。

2 イベントの概要（予定）

(1) 開催日時・場所

日時：平成 30 年 2 月 18 日（日）10:00～18:00

場所：仙台国際センター 〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

<http://www.aobayama.jp/>

(2) 実施内容

- ・各団体の活動紹介などの参加団体による発表（午前・2 時間程度）
- ・日本アイ・ビー・エム株式会社の社会貢献活動としての、プロジェクト・マネジメントの手法を学ぶワークショップ
（午後・4 時間程度） など

※日本アイ・ビー・エム株式会社の現役プロジェクト・マネージャーによる講義と、自団体が関わる企画（プロジェクト）を題材とした実践的な演習を通じて、プロジェクト・マネジメント手法の概要を理解するとともに、プロジェクトの企画の「可視化」や管理のための共通概念の習得を目指す内容です。

※実施内容の詳細については、別添 1 「実施内容について」を参照ください。

3 募集する団体の要件及び当日の参加団体数

(1) 募集する団体の要件

次の要件をすべて満たす団体を募集します。

<学生ボランティア団体について>

- ・東日本大震災からの復興支援を目的としたボランティア活動をしている「大学生」で組織される団体。なお、「大学生」には、専門学校生も含まれます。・特に、仮設住宅・復興住宅において住民の方に関わる活動をしている団体。
- ・NPO等の団体とつながりを持ちたいと考えている団体。
- ・大学の教員又は職員の推薦が得られる団体。複数校の学生が参加する団体については、当該団体の代表者（学生）が所属する大学の教員又は職員の推薦が得られる団体（専門学校生のみによって構成される団体については、専門学校の教職員の推薦が得られる団体）。

<NPO等の団体について>

- ・東日本大震災からの復興支援を目的に男女共同参画を含む多様な視点を持って活動を行っているNPO等（一般社団法人、一般財団法人、任意団体など、復興支援を行っている団体）の団体※。

※「男女共同参画を含む多様な視点を持って活動を行っているNPO等の団体」とは、女性、子ども、障害者等を含めた多様な視点により行われている活動で、復興庁男女共同参画班が作成している「男女共同参画の視点からの参考事例集」（<http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-16/20130626164021.html>）に掲載されているような活動を行っている団体のこと。

- ・特に、仮設住宅・復興住宅において住民の方と関わる活動をしている団体。
- ・学生ボランティア団体とつながりを持ちたいと考えている団体。

<全ての団体について>

- ・上記条件に該当した上で、現在実施している、又は今後実施を予定している、開催時期、規模、内容等がある程度定まっている企画（プロジェクト）を持っている団体。（ワークショップに参加するにあたって必要となります。また、実施時期が間近な企画でもかまいません。）
- ・所在地が岩手県・宮城県・福島県である団体。
- ・必ず1団体2名又は3名で参加することができる団体。（当日は団体の関わっている企画単位でワークショップに参加いただきます。1団体1企画でお願いします。）

(2) 当日の参加団体数（予定）

学生ボランティア団体、NPO等の団体合わせて10団体程度から各2～3名程度参加いただく予定です。なお、当日の会場までの交通費については、復興庁で負担する予定です。

4 募集期間

平成29年12月15日（金）17:00まで

5 応募方法

本実施要領の別紙「応募用紙」に必要事項を記載の上、電子メールにて、上記4の募集期間内に必着で応募ください。応募の際は、次の点にご注意ください。

(1) 応募用紙等の作成

- ① 別紙「応募用紙」に必要事項を記載してください。また、応募用紙に記載しきれない場合や補足説明が必要な場合には、応募用紙とは別に説明資料を添付してください。
- ② 応募用紙及び説明資料については、すべて電子ファイルとしてください。こちらで読み取れるファイルの形式は次のとおりです。

- PDF ファイル (. pdf)
- JPEG ファイル (. jpg)
- MS-Word ファイル (. doc 又は . docx)
- MS-Excel ファイル (. xsl 又は . xslx)
- MS-Power Point ファイル (. ppt 又は. pptx)

なお、学生ボランティア団体の場合、応募用紙の1ページ目には推薦者の押印が必要です。このため、応募の際は、押印されていることが分かるように、応募用紙をスキャナーで読み取る等して、PDF ファイルで送付してください。

(2) 電子メールの送信

- ① メールの件名を「【応募】 ボランティアキャンペーンイベント (仙台)」としてください。
- ② メール本文に、次の内容が分かるように記載してください (様式任意)。
 - ア 応募団体の名称
 - イ 代表者氏名 (ふりがな)
 - ウ 代表者の連絡先 (電子メール、電話番号)
- ③ 応募用紙及び説明資料のファイルサイズの合計が 5MB 未満の場合は、これらのファイルをメールに添付して送付ください。ファイルサイズの合計が 5MB 以上になる場合には、メールにはファイルを添付せず、上記(2)②の事項に加え、「5MB 以上の添付ファイルがある」ことをメール本文に記載してください。折り返し、ファイルの送付方法をご連絡します。
- ④ 応募メールは、復興庁ボランティア・公益的民間連携班 (i. volunteer@cas. go. jp) あてに送信してください。

6 参加団体の選定

当日参加していただく団体については、主に次のようなポイントを踏まえ、復興庁において選定します。

<評価のポイント>

- ・ 応募団体のこれまでの活動内容と活動結果の分析ができているか。
- ・ 現在実施中もしくは今後取り組む予定の具体的な企画 (プロジェクト) を持っているか。
- ・ 今回のイベントに参加して何を得たいと考えているか。また、得たものを今後、どのように活かしていこうと考えているか。
- ・ 参加するに当たったの意気込み。 ほか

7 参考：平成 29 年度の学生ボランティア促進キャンペーンのテーマ

掘り起こそう、東北の『たからもの』

これまで被災地へ訪れたことがある人も、これまで東北に行く機会がなかった人たちも、6年経過した今、東北へ訪れてもらい、次のような東北の『たからもの』を掘り起こしてもらいたいという思いを込めて、「掘り起こそう、東北の『たからもの』」というテーマを設定しました。

- ボランティア等を通しての現地の方との交流により、「これからもずっと行ってみたい」「また来てもらいたい」と思うような関係を築き、訪れた人の「第2のふるさと」という『たからもの』
- ボランティア等で被災地を訪れる際に触れる、東北の美味しい食べ物や、文化・歴史・観光スポットなどの『たからもの』
- ボランティアの際に、現地で活躍している方々との交流や「新しい東北」などの取組に触れることで得られる「新たな学びの機会」という『たからもの』

8 その他

- ① 応募された資料等は返却しません。
- ② 応募者の連絡先等は、本イベントに関する連絡等に用いるほか、今後、復興庁で大学生・NPO等を対象とした催し物を開催する場合などの情報提供に利用させていただきます。それ以外の用途では使用しません。

以上

【問い合わせ先】

復興庁ボランティア・公益的民間連携班

電話：03-6328-0274

電子メール：i.volunteer@cas.go.jp

平成 29 年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント
「NPO と学生がつながろう！～持続可能なコミュニティ支援活動のために～」

応募用紙

平成 29 年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント「NPO と学生がつながろう！～持続可能なコミュニティ支援活動のために～」に参加したいので、必要書類を添付の上、応募します。

<p>応募団体名称</p>	
<p>応募団体代表者 所属・氏名 <small>ふりがな</small></p>	<p>所 属： 氏 名：</p>
<p>応募団体代表者 連絡先</p>	<p>電 話 番 号： 電 子 メ ー ル：</p>
<p>団体の PR (150 字程度で)</p>	
<p>推薦者 所属・氏名 ※学生ボランティア団体のみ 記入</p>	<p>(団体名) が、平成 29 年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント「NPO と学生がつながろう！～持続可能なコミュニティ支援活動のために～」への参加を推薦いたします。</p> <p>所 属： 氏 名： 連 絡 先： 印</p>

1 団体の活動について※この項目でサイズ12ポイント、1ページ以内とする。

団体の主な 活動内容	<p>団体の活動や活動の結果について、</p> <ul style="list-style-type: none">・時期・場所・内容 (最も注力していることや課題なども含む) <p>を記入してください。補足が必要な場合は、既存資料等の参考資料を別途添付してください。</p>
---------------	--

2 現在実施中（ただし、終了間近なものでない方が望ましい）、もしくは今後、実施予定の企画について※この項目でサイズ12ポイント、1ページ以内とする。

<p>今後、被災地で必要とされる支援について</p>	<p>現在実施している、今後実施を予定の企画について、以下の項目を自由に記入してください。補足が必要な場合は、既存資料等の参考資料を別途添付してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・企画（プロジェクト）名・概要（数行程度で取り組みの内容を記載）・目的とゴール（終わった時にどうなっていれば成功か？）・期間・実施に当たり、協業する（予定の）自団体以外の関係者・組織・団体など
----------------------------	--

3 イベント参加に際して※各項目でサイズ12ポイント、1ページ以内とする。

<p>イベント 参加に 当たって 期待する こと</p>	<p>今回のイベントに参加するに当たって期待することや、イベントに参加することで得たいと思っていることなどを自由に記入してください。</p>
--	--

<p>イベント 参加後の 活動</p>	<p>今回のイベントに参加して得られたものを今後、自身の団体の活動にどのように活かしていこうと考えているかなどを自由に記入してください。</p>
-----------------------------	--